



て1年間で891件の相談でした。翌年は1700件と倍増し、その後毎年、少しずつ増えて行って8年目に5,000件を超えました。

年に10,000件を超えたのは、16年目の2006年（平成18年）でした。2016年（平成28年）が最も件数が多く13,331件になりました。

新型コロナウイルス感染防止の対策のため、体制を縮小せざるを得なかった2020年では10,000件を少し上回る程度にとどまりました。この内、自殺傾向のあった電話は594件（男249件、女345件）で、全体に占める割合は6%と少なく感じますが、一日に1～2件は自殺傾向（念慮、危険、予告など）のある電話を受けていることになります。前年は8.8%、前々年9.3%、2011年（平成23年）から8年間は10%を上回っていましたので、自殺傾向は減少傾向にあります。一方で、本県では自殺死亡率が高止まりしています。

### ○全国1の自殺死亡率

2003年（平成15年）には全国の自殺者が34,427人と過去最多となりました。岩手でもこの年の527人が最多でした。これが2018年には253人まで減少しました。10万人当たりの自殺死亡数も38.7人から20.5人へと減少しました。しかし、2019年は22.5人、2020年は22.7人と増加し、とうとう全国で1番目に自殺死亡率の高い県となりました。

自殺をめぐる課題は実に厚い壁です。

最近では、新型コロナウイルス感染症の影響による経済の低迷、離職、社会的孤立に追い込まれ

る人々の苦悩が深まっています。ステイホームや行事の中止、行動の自粛もストレスが高じる要因と思われます。当電話に寄せられる内容も在宅勤務の増加によってドメスティック・バイオレンスに苦しんでいるなどの悩みが増えているとのことです。

### ○若い世代の受け止めに課題

盛岡いのちの電話がスタートした30年前と現在では社会状況が異なっています。大きな変化は、インターネットの発達による人々のコミュニケーション手段の多様化とこれに伴う他者への誹謗中傷の増加です。ネット暴力、ネットいじめとも言われています。

一昨年から昨年までの全国の自殺を巡る状況を見ますと20歳未満と20歳代の自殺がそれぞれ17.9%、19.1%増加しています。若い世代の自殺が増加していることは憂慮すべき事態です。当電話が受け止めている年代は30歳代以上が多く、30歳未満のいわゆるSNS世代へのアプローチが大きな課題であると受け止めています。

いのちの電話も、これから先の5年、10年の活動をどのように描くのが問われていると思います。自殺予防といういのちの電話の使命、理念に近づくために、行動の目標を定めて充実を図っていきたくと考えています。



## 例会報告

### 第30回例会

令和3年5月14日(金)

場所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

12時30分 開会点鐘

- ・司会 米内正会長
- ・ロータリーソング（われらの生業）
- ・四つのテスト斉唱
- ・会長報告 米内正会長
- ・誕生祝 藤田治彦君

- ・幹事報告 大平騰一幹事
- ・委員会報告

### 【ニコニコBOX】

- ◆畠山将樹君…盛岡いのちの電話の活動、非常に大切な活動であることを改めて認識することができました。ありがとうございました。
- ◆坂本広行君…先週は遅刻いたしました。申し訳ございません。会員の皆様より、お祝いのお言葉、励ましのお言葉を頂きましたこと、とても難しく、厚く御礼申し上げます。神社

界を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、わたくしなりに務めてまいります。今後共、ご指導賜ります様お願い申し上げます。

- ◆米内正君…盛岡いのちの電話の活動について、盛岡いのちの電話、理事長の右京昌久様より卓話を頂きました。この活動を支援するため、今まで小生や当クラブの会員の数名の方が寄付しており、今後も微力ながら、個人的にも盛岡ロータリークラブとしても、支援を続けたいと思います。本日の卓話に感謝してニコニコします。



### プログラムのお知らせ

- ・5月21日(金) 新入会員卓話 晴山和泰会員 「株式相場の格言」
- ・青少年育成団体支援金贈呈式
- 28日(金) 新入会員卓話 長沼博会員

●本号編集担当 / 大久保嘉二